



m108 GUI Control Software Manual

Software Version: 1.0

Manual Revision: 1.0

取り扱い説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Getting Started

Introduction

m108 コントロールソフトウェアアプリケーションでは、m108 のイーサネットコントロールポートを使用して最大 12 個の m108 プリアンプを制御できます。システムの各プリアンプには、マイクプリアンプ、ADC、クロッキングパラメータを操作するための専用のコントロールパネルがあります。コントロールアプリケーションでは、チャンネルグループの作成、プリセットの保存と呼び出しが可能です。アプリケーションは Windows (7,8.1,10) および Mac OS (10.11) で動作します。Android または iOS 経由で m108 を制御するには、m108 Web インターフェイスを使用します。

Installation

アプリケーションをインストールするには、<http://www.gracedesign.com/support/support.htm> に移動して、使用しているオペレーティングシステムの正しいバージョンをダウンロードします。

OSX Installation

ダウンロードした.dmg ファイルをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントします。ファイルが開いたら、アプリケーションを「アプリケーション」フォルダにドラッグします。

Connecting to your preamps

プリアンプに接続するには、まず次のことを確認してください。

- ・各プリアンプはユニークな ID を持っています
- ・各プリアンプは Ethernet リモートコントロールに設定されています
- ・各プリアンプには一意の IP アドレスがあります

次に、アプリケーションを開きます。アプリケーションがセットアップページを開きます。

プリアンプの管理セクションで、"+"を押してメニューにプリアンプを追加します。

各プリアンプについて、[IP アドレス]フィールドに IP アドレスを入力し、Enter キーを押して入力を確定します。アプリケーションが特定の IP アドレスで m108 を見つけられた場合、「ACT」または「アクティブ」インジケータが緑色に変わります。

すべての IP アドレスが見つかったら、ウィンドウの下部にある[接続]をクリックします。

プリアンプコントロールページを表示するには、ウィンドウの上部にある「プリアンプ」タブをクリックします。

Controlling your preamps

プリアンプのビューでは、一度に2つ、最大12台のプリアンプを表示できます。解像度が1600x900以上の画面では、両方のプリアンプの8つのチャンネルすべてが表示されます。解像度が1600ラインより狭いスクリーンの場合、チャンネルは水平方向にスクロール可能です。垂直解像度が900未満のスクリーンでは、一度に1つのプリアンプしか完全には見えません。表示されているプリアンプを切り替えるには、スクロールホイールまたは画面の左側にある矢印を使用します。単一のプリアンプの例を以下に示します。



Navigation and Setup

Navigation Bar

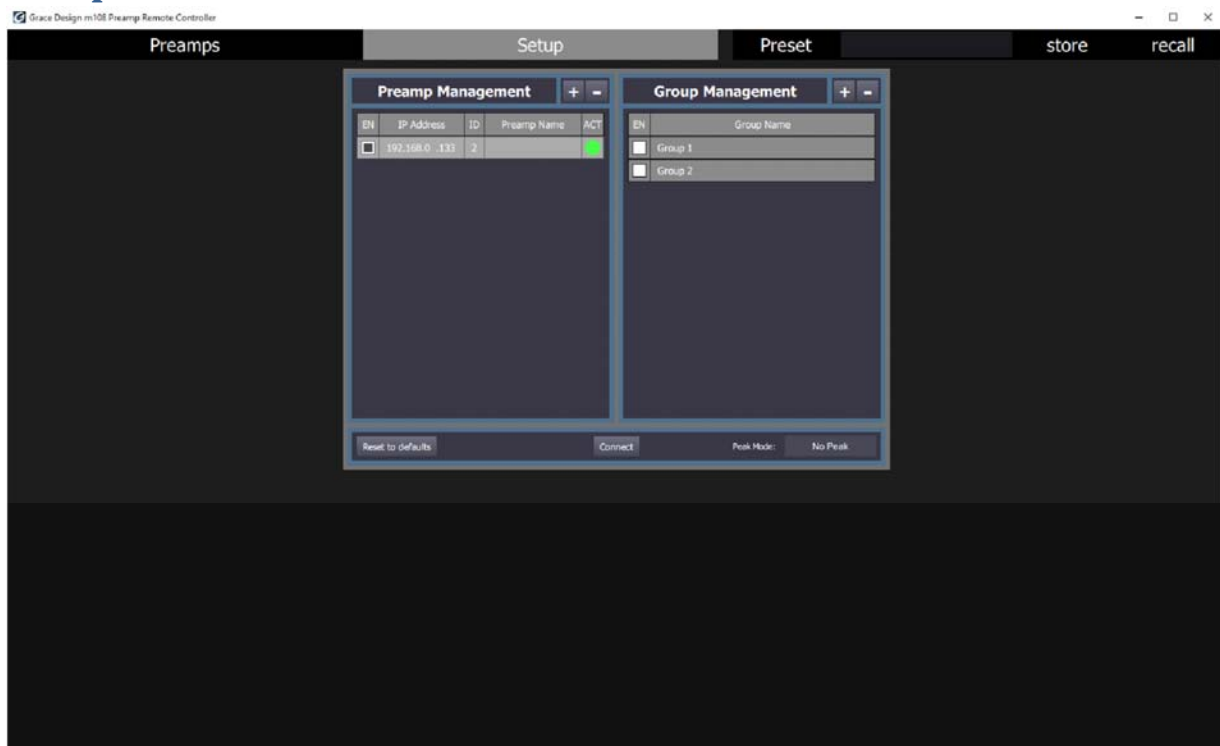


アプリケーションの上部にあるナビゲーションバーは、セットアップとプリアンプの表示の切り替え、およびプリセットの保存と呼び戻しに使用されます。

Changing Views

ビューを変更するには、ナビゲーションバーにある「プリアンプ」または「セットアップ」ボタンをクリックします。

Setup View



これがセットアップ画面です。ここから、ユーザは、プリアンプの追加、またはグループの追加、またはグループの有効化/無効化によって、システムを設定することができます。プリアンプも工場出荷時の設定にリセットすることができ、メーターピークモードを選択すること可能です。このビューには、プリアンプ管理、グループ管理、およびユーティリティの3つのサブ画面があります。

Preamp Management

プリアンプ管理画面では、ユーザはシステムのプリアンプを追加/削除し、プリアンプを有効/無効にすることができます。



EN	IP Address	ID	Preamp Name	ACT
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0 .132	1		●
<input type="checkbox"/>	0 .0 .0 .0	0		●
<input type="checkbox"/>	192.168.0 .235	3		●

プリアンプの追加

プリアンプを追加するには、画面の右上隅にある「+」ボタンをクリックします。これにより、新しいプリアンプの行がパネルに表示されます。次に、m108 コントロールパネルの Ethernet Setup サブメニューにある、ユニットの IP アドレスを入力します。IP アドレスが入力されたら、Enter キーを押して入力を確定します。コントローラがプリアンプを検出すると、「ACT」インジケータが緑色に変わり、プリアンプの ID と名前をプリアンプの行に追加できます。「EN」チェックボックスは自動的にチェックされます。インジケータが緑色にならない場合は、コントローラソフトウェアは指定された IP アドレスでプリアンプを検出できなかったということです。

プリアンプの削除

プリアンプを取り外すには、まず削除する行をクリックします。次に、画面の右上隅にある「-」ボタンを押します。選択されたプリアンプはリストから削除されます。また最後のプリアンプはリストから削除できません。

プリアンプの表示/非表示

プリアンプを単純にコントロールインターフェイスに表示しないようにするには、「EN」チェックボックスをオンまたはオフにします。

変更の確定

変更が行われた後、変更がアクティブにするためには、ユーティリティ画面の「Connect」ボタンを一度「押す必要があります。

Group Management

グループ管理画面では、ユーザはグループを追加または削除し、有効/無効化することができます。グループ名は "Group#" に限定されています。# は 1~12 の範囲で変更できます。



グループの追加

グループを追加するには、画面の右上隅にある「+」ボタンをクリックします。

グループの削除

グループを削除するには、ペインの右上隅にある「-」ボタンをクリックします。

グループの有効/無効

グループをグループごとの全体的に有効/無効にするには、「EN」チェックボックスをオンまたはオフにします。これにより、指定したグループのすべてのチャンネルが有効または無効に設定されます。

Utility

ユーティリティパネルには、プリアンプへの接続、プリアンプの工場出荷時のデフォルトへのリセット、ピークモードの選択など、一般的なユーティリティ機能が含まれています。



ピークモード

メーターには、No Peak (ピークなし)、Peak Hold(ピークホールド)、Peak Decay(ピークディケイ)の3つのピークモード設定があります。

初期設定へのリセット

このボタンは、接続されているプリアンプと使用可能なプリアンプを工場出荷時のデフォルトに設定します。

Preamp View

チャンネル、ステータス、ADC という 3 つの主要セクションがあります。



Channels

チャンネルストリップは、プリアンプの主要インターフェースです。個々のチャンネルを直接制御することができ、基本的なチャンネルのメータリングを提供します。



ゲイン設定

ゲインを設定するには2通りの方法があります。1つめは上下の矢印です。矢印を押してゲインを1ずつ増減させるか、または押し続けて変更をトリガーします。2番目のオプションは直接入力です。ゲインを入力するには、ゲイン値をクリックして値を直接入力できます。Enterを押して編集を終了します。変更できる値は-6、2-69です。

チャンネル名の変更

チャンネル名を変更するには、名前フィールドをクリックし、希望するゲインを入力します。Enterを押して編集を終了します。編集が終了するまで、変更はリアンプに反映されません。受け入れられる文字は、A~Z、a~z、0~9、-。合計11文字まで対応します

ファンタムパワー

ファンタム電源を有効/無効にするには、「48V」ボタンをクリックします。ファンタム電源がオンのときにボタンが赤く点灯します。リボンモードがアクティブな場合には、ファンタム電源を有効にすることはできません。

位相反転

位相を反転するには、「Ø」ボタンをクリックします。位相反転がアクティブなときにボタンが黄色に変わります。

リボンモード

リボンモードを有効/無効にするには、「RBN」ボタンをクリックします。リボンモードがアクティブなとき、ボタンは青色に変わります。ファンタム電源が有効になっているときにリボンモードをオンにすると、ファンタム電源がオフになります。

グループの有効化

グループにチャンネルを追加/削除するには、[Group]ボタンをクリックします。グループがアクティブになると、ボタンは緑色に変わります。このボタンがアクティブな場合、このチャンネルのゲイン・チェンジは、同じグループにある、他のアクティブなチャンネルにも反映されます。

グループの選択

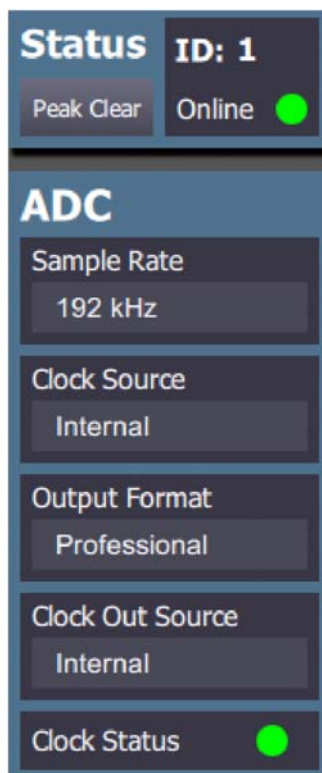
チャンネルが属するグループを選択するには、グループ名をクリックします。各グループ名のドロップダウンメニューが表示されます。チャンネルが属するグループを変更するには、目的のグループをクリックします。

テキスト入力

チャンネルストリップの下部には、チャンネルにメモ書きを足せる小さなストリップがあります。このボックスに入力されたテキストは折り返されません。

メーターピーク・インジケータのリセット

メーターのピーク表記/インジケータをクリアするには、メーターの任意の場所をクリックします。そのプリアンプの全チャンネルのピークを一度にクリアするには、ステータス画面にある "Peak Clear" ボタンをクリックします。



Status

ステータス画面には、プリアンプ ID、オンラインステータス、および ADC 設定が表示されます。

オンライン・ステータス

アンプがオンラインのとき、インジケータは緑色になります。インジケータが緑色でない場合、プリアンプはオフラインです。

プリアンプのピーククリア

このボタン (Peak Clear) は、プリアンプ各チャンネルのピーク/オーバーをクリアします。

ADC

サンプルレートの変更

サンプルレートを変更するには、現在の値をクリックします。使用可能なサンプルレートのドロップダウンメニューに表示されます。希望のサンプルレートをクリックしてサンプルレートを設定します。

クロックソースの変更

クロックソースを変更するには、現在の値をクリックします。使用可能なクロックソースが表示されたドロップダウンメニューが表示されます。クロックソースを設定するには、目的のクロックソースをクリックします。

出力フォーマットの変更

出力のフォーマット形式を変更するには、現在の値をクリックします。使用可能な出力形式のドロップダウンメニューが表示されます。出力形式を設定するには、目的の出力形式をクリックします。

クロック出力ソース

クロック出力ソースを変更するには、現在の値をクリックします。ドロップダウンメニューが表示され、使用可能なクロック出力ソースが表示されます。クロック出力元を設定するには、目的の出力ソースをクリックします。

クロックソース

ADCの入カクロックPLLがロックされていると、インジケータは緑色に点灯します。ロックが検出されないと、インジケータが点滅します。

プリセットを使用する

プリセットにシステム構成を保存できます。プリセットが保存されると、プリアンプのIDと名前を除いたシステム構成全体が保存されます。各プリアンプごとに、ゲイン、ファンタム電源、フェーズ、リボンモード、グループモード、名前、テキストストリップ、すべてのADC設定が保存されます。リコールすると、以前のIPアドレスが表示され、プログラムはそのアドレスのプリアンプにアクセスしようとします。プリアンプが見つかったら、名前とIDが自動的にロードされ、"ACT"インジケータが緑色に変わります。プリアンプが見つからない場合は、IPアドレスを更新するか、"EN"チェックボックスをオフにしてプリアンプをシステムから除外する必要があります。このアプリケーションのプリセット機能は、プリアンプ本体のフロントパネルのプリセット機能とは別のものとして機能します。

プリセットの保存

ウィンドウの右上隅にある「STORE」をクリックします。

開いたファイルダイアログで、目的のプリセット保存場所をナビゲートします。

その後、ファイル名ボックスにプリセット名を入力して「SAVE」を押して保存してください。

プリセットの呼び出し

ウィンドウの右上隅にある「RECALL」をクリックします。

開いたファイルダイアログで、目的のプリセットファイルを探して選択し、「OPEN」を押します。

各プリアンプのプリアンプ管理セクションの"ACT"インジケータをチェックして、すべてのプリアンプが見つかったことを確認します。インジケータが緑色でない場合は、IPアドレスが正しいことを確認して、IPアドレスを再入力します。プリアンプの総数のサブセットを有効にするには、"EN"チェックボックスをオンまたはオフにして、特定のプリアンプを有効または無効にします。[Connect]をクリックし、プリアンプページに移動します。

グループを使用する

コントロール・アプリケーションのグループは、異なるプリアンプのチャンネル間のリンク・ゲインの変更も可能にします。この動作は、プリアンプフロントパネルのグループモードとは異なります。利用可能なグループは最大12個あります。

グループチャンネル

グループ化するすべてのチャンネルに同じグループ名が選択されていることを確認してください。

チャンネルに正しいグループが選択されていない場合は、グループ名をクリックしてドロップダウンメニューを開き、適切なグループを選択します。各チャンネルの「Group」ボタンをクリックしてグループに入れます。グループ内でチャンネルがアクティブになると、「Group」ボタンが緑色になります。

グループが選択されているすべてのチャンネルは、セットアップビューの[Group Management]セクションの[EN]チェックボックスで同時に有効にすることができます。

グループの追加と削除

グループを追加するには、Setup ページの Group Management セクションで "+" ボタンを押します。「Group #」という名前のグループ（# は前のグループの番号より 1 つ大きい）がリストに追加されます。

グループを削除するには、Setup ページの Group Management セクションで "-" ボタンを押します。最も上の番号のグループがリストから削除されます。

Release Notes

Version 1.0

Known Issues

- ・ネットワーク遅延が生じる場合に、コマンドが遅れてバッファリング送信する可能性が稀にあります。その場合は有線ローカル接続を使用して軽減することがあります。
- ・メーターは NULL パケットを受信し、メーターディスプレイで「ピーク」感知することがあります。
- ・プリアンプ管理画面では、「Connect」ボタンが押されるまで、プリアンプの名前が正しく表示されないことがあります。